

平成 25 年 11 月 1 日

各 位

本店所在地 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号
 会 社 名 株式会社アイレップ
 代表者名 代表取締役社長 紺野 俊介
 (JASDAQ・コード 2132)
 問合せ先 取締役管理本部長 永井 敦
 電話番号 03-3596-8700 (代)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 11 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 9 月期通期業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(単位：百万円, %)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|--------|---------|---------|-----------|--------------------|
| 前回発表予想 (A) | 41,550 | 1,024 | 1,027 | 617 | 円 銭 22.55 |
| 今回修正予想 (B) | 47,390 | 950 | 967 | 584 | 21.35 |
| 増 減 額 (B - A) | 5,840 | △73 | △60 | △32 | — |
| 増 減 率 (%) | 14.1% | △7.2% | △5.9% | △5.3% | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 24 年 9 月期) | 37,761 | 922 | 930 | 579 | 21.26 |

(注) 当社は平成 24 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 500 株の、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。平成 24 年 9 月期は期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(単位：百万円, %)

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|--------|---------|-----------|--------------------|
| 前回発表予想 (A) | 38,251 | 896 | 537 | 円 銭 19.63 |
| 今回修正予想 (B) | 44,396 | 882 | 533 | 19.47 |
| 増 減 額 (B - A) | 6,144 | △13 | △4 | — |
| 増 減 率 (%) | 16.1% | △1.5% | △0.8% | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 24 年 9 月期) | 34,960 | 841 | 516 | 18.93 |

(注) 当社は平成 24 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 500 株の、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。平成 24 年 9 月期は期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、大規模な金融緩和による日本経済の景気回復の兆しが見えてきたことなどを背景に、予想以上に当社の中心的なサービスであるリスティング広告を含めた運用型広告の出稿が増加し、連結売上高が5,840百万円増の47,390百万円、個別売上高が6,144百万円増の44,396百万円となる見込みとなりました。

また、デジタルマーケティング手段の多様化・複雑化に対応するためのリサーチや研究機能の強化、複雑さに伴う新規採用従業員の初期教育期間の長期化を見据えて従業員の採用を前倒して行ったことや、これに伴ってオフィススペースの拡張を行ったこと等の今後の成長を見据えた活動の影響により、売上高の増加に関わらず利益面では期初の想定から大きな変化は生じず前回予想を若干下回るものの、前年実績は上回る見通しとなりました。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上